

関西福祉大学開学**15**周年記念講演会

「人間平等」「個性尊重」「和と感謝」

# 震災と復興

「いのち」を「**こころ**」の絆でつなぐ「**人と人**」

**日 時** 2011年

**11月26日(土) 13:30~16:30**

**場 所** 関西福祉大学 入場無料・申し込み不要

**講演者**

こころ 阿部 昇 氏 臨床心理士 スクールソーシャルワーカー  
臨床教育学博士 宮城県石巻市生まれ

ひと 小山 達也 氏 兵庫県企画県民部防災企画局  
元内閣府防災担当 JICA 国際緊急援助隊

いのち 小野 成樹 氏 赤穂市民病院副院長 医学博士

阪神淡路大震災を体験した私たちは、東南海地震や南海地震が起きた場合、「この地域はどうなるのか」「学びや仕事、暮らしなど、どのように備え対策を立てれば良いのか」について考え、何が大切なのかを見極め、未来を担う次世代の人々の生活を、より安全なものにする責務があります。その答えを見つけるための講演会を開きます。奮って、ご参加下さい。

**主催** 関西福祉大学

〒678-0255 赤穂市新田 380-3 <http://www.kusw.ac.jp>

共催 大学コンソーシアムひょうご神戸

問い合わせ先

関西福祉大学事務局

**0791-46-2525**

## 関西福祉大学開学15周年記念講演会

### 震災と復興—「いのち」を「こころ」の絆でつなぐ「人と人」

日時： 2011年 11月26日（土） 13:30～16:30

会場： 関西福祉大学 A100教室

共催： 大学コンソーシアムひょうご神戸

主催者挨拶 関西福祉大学学長 安井 秀作

この講演会は、「大学コンソーシアムひょうご神戸」によるリレー方式の連続講演会の一つとして企画されました。今年は、開学15周年を迎えますので、これを「開学15周年記念・シリーズ講演会」として位置づけ、赤穂市から、「震災にどう立ち向かい、如何に復興していくのか」、復興支援と防災・減災に向けてのメッセージを発信します。あわせて、福祉大学として、この問題にどう立ち向かうべきかを考える機会としたいと考えています。



安井 秀作 学長

講演1 「こころ」 臨床心理士 阿部 昇 氏

「こころの“つながり”と“かかわり”の実際」 13:40～14:30



阿部 昇氏

プロフィール

昭和35年宮城県石巻市生まれ  
昭和57年山形大学人文学部卒業  
平成15年武庫川女子大学大学院  
臨床教育学研究科博士後期課程修了  
兵庫県、京都市スクールカウンセラー  
臨床教育学博士、臨床心理士

東日本大震災の発生と同時に、心理支援の必要性を感じながらも、動き出す上で幾つかの問題がありました。支援活動のコーディネートに負担をかけられない状況で、被災地にあるニーズと支援者が持つ資源とを、いかに結び付けていったらよいのか。被災地の人々は、身内以外になかなかこころを開こうとしません。そのこころの扉の鍵を、内側から開いてもらうにはどうしたらよいのでしょうか。

これらの問題を、被災地とのコミュニケーション・ネットワークの構築により乗り越えながら、さらに開催した「先生の広場」「支援学校・子どもの広場」の経過を報告し、急性期の現地支援活動の事例を通して、被災地での心理支援の展開のありかたを考察していきたいと思えます。

講演2 「ひと」 兵庫県企画県民部防災企画局 防災事業係長 小山 達也 氏  
「人と地域と減災」 14:30~15:20

阪神・淡路大震災では、生き埋め者の75%が近隣住民に救助されており、復旧・復興期には、約200万人ともいわれるボランティアが活躍するなど、大規模災害における、ひと（地域住民）の助け合いの重要性が認識されています。

赤穂では、南海地震による約4mと予想されている津波や、大雨や台風による河川の氾濫、浸水の危険性を考慮し、日頃からの備えの充実を図る必要があります。

自分自身の命を守ること、自分の特技を生かしたボランティア等、東日本大震災等の事例に学ぶ防災活動について講演します。



小山 達也 氏

プロフィール

平成 11年 兵庫県東京事務所  
平成 12-13年 内閣府防災担当  
平成 14-18年 兵庫県企画課(国際防災協力担当)  
平成 19-20年 JICA 国際緊急援助隊事務局

防災関係役職

国際連合 災害評価調整官(UNDAC)  
厚労省 日本災害派遣医療隊員(DMAT)

講演3 「いのち」 赤穂市民病院 副院長 小野 成樹 氏  
「輝くいのち」 15:30~16:20



医学博士 小野 成樹 氏

プロフィール

平成 3年より 赤穂市民病院勤務  
平成 17年より 京都大学医学部臨床教授兼務  
平成 19年より 関西福祉大学非常勤講師兼務  
平成 20年より 赤穂市民病院副院長兼消化器科部長

日本内科学会	指導医、総合内科専門医ほか
日本消化器病学会	指導医、専門医ほか
日本消化器内視鏡学会	指導医、専門医
日本肝臓学会	指導医、専門医
日本人間ドック学会	認定医、健診情報管理指導士

赤穂市民病院は院外活動にも力を入れています。DMAT（災害派遣医療チーム）活動にも積極的に参加し、平成16年の台風23号による但馬の水害、平成21年の台風9号による佐用の水害等にもチームを派遣してきました。今回の東日本大震災に際しても直後にDMATを派遣し、さらに災害拠点病院として救護班としてのチーム派遣や薬剤師、検査技師、MSW等を派遣して現地の医療現場に協力して支援活動を行いました。その体験から多くのいのちを守る災害医療を考えます。